

VOICE

Volunteers of International Communication & Exchange



VOL.59

発行日 2014年3月31日
発行 熊本県国際協会
〒862-8570
熊本市中央区水前寺6-18-1
熊本県国際課内
TEL 096-385-4488
FAX 096-277-7005
E-mail kuma-koku@cup.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.kuma-koku.jp/>

内容

※
Conteúdo

(※「内容」のポルトガル語です。)

1 国際協会活動報告

- フィリピン中部における台風被害に対する災害義援金のお礼
- 第20回熊本国際交流祭典の開催

2 人物・会員団体紹介

- 熊本県国際交流員ジェイソン・シヨン氏
- MATEインターナショナル倶楽部(M・I・C)

3 トピックス

- 平成25年度熊本県海外技術研修員受け入れ事業について — 熊本県
- 「2013日韓歴史シンポジウムin天草-日本と韓国のキリスト教受容史」 — 熊本日韓文化交流研究会
- 外国料理交流会 — 大津町国際交流協会
- 崇城大学の国際交流への取り組み
- ブラジル慶祝訪問団 — 熊本日伯協会
- 英国派遣事業について — 芦北町国際交流協会
- 「八代市ジュニア友好派遣団」が中国北海市を訪問 — 八代市
- 孫文を支えた宮崎滔天の史料展が海外で初開催 — 荒尾市

4 お知らせ

- 日本語ミュージカル
「吾輩はニャンコである」の上演について
— NPO法人 熊本インドネシア友好協会
- 第17回「植木町調査団」inローム!
— 植木町国際交流協会

5 会員団体行事予定

6 事務局からのお願い



第20回熊本国際交流祭典のひとコマ

国際協会活動報告

◆フィリピン中部における台風被害に対する災害義援金のお礼

熊本県国際協会では、去る平成25年11月4日に発生した台風第30号(フィリピン名ヨランダ)によって甚大な被害を受けたフィリピン共和国に対して、被災者の皆様へのお見舞いと1日も早い復興を願う熊本県民の善意を具体的な形にするため、義援金募集を実施いたしました。

11月20日から標記義援金の受付を開始して以降、会員をはじめ県民の皆様、各事業所・団体の皆様から多数の義援金をお寄せいただきました。皆様の温かいご支援に厚くお礼申し上げます。

お寄せいただいた義援金につきましては、振込手数料を除いた額を下記のとおり在大阪・神戸フィリピン共和国総領事館を通じて贈呈し、被災された方々のために役立てていただきます。

なお、本来であれば、義援金をお寄せいただいた皆様に個々にお礼を申し上げるべきところですが、この場をお借りしてあらためて厚くお礼申し上げます。

熊本県国際協会
会長 蒲島 郁夫

平成26年1月15日(水)に磯田事務局長が在大阪・神戸フィリピン共和国総領事館を訪れ、熊本県大阪事務所の本坂所長立ち会いの下、マリア テレサ L. タギャン総領事とドミニク セイヴィエル M. インペリアル副領事に義援金目録を贈呈いたしました。



左から、ドミニク セイヴィエル M. インペリアル副領事、マリア テレサ L. タギャン総領事、磯田事務局長、本坂県大阪事務所長

○義援金額等について

義援金額 4,416,352円
贈呈額 4,414,672円(振込手数料除く)

※金額については、募集締め切りから送金までの手続きの間にも義援金をお寄せいただきましたので、当初御報告いたしました金額から変更になっております。

◆第20回熊本国際交流祭典を開催しました!



華やかな着物姿でステージへ

平成25年11月24日(日)に熊本市東区の健軍商店街で第20回熊本国際交流祭典を開催。当日は、多くの方々にご来場いただいた中、参加団体がダンスや音楽演奏、熊本県営業部長のくまモンが「くまモン体操」を披露するなど、会場が一体となって盛り上がりました。また、体験コーナーでは、色とりどりの着物や世界の民族衣装を身にまとった参加者の姿が見られ、国際色豊かな雰囲気に包まれました。

その他にも、煎茶体験や世界のグルメ、パネル展示、バザー、スタンプラリーなどのイベントを通じ、来場者の皆さんに各会員団体の日頃の活動を知っていただくとともに、海外の様々な文化に触れていただくことができました。

ご協力をいただいた健軍商店街の皆さんや50名を超えるボランティアの皆さんのおかげで盛会のうちに祭典を終了することができました。心から感謝申し上げます。



会場全体の様子



煎茶体験コーナーの一角

人物・会員団体紹介

◆熊本県国際交流員ジェイソン・ジョン氏

今回は、熊本県国際課に勤務する国際交流員のジェイソン・ジョン氏にお話を伺いました。毎年の国際交流祭典にも参加し、会員の皆様も一度は顔を見たことある方が多いと思います。

——まず、お名前と出身国を教えてください

アメリカハワイ州のオアフ島出身です。本当の名前は六つあります。Jason Thomas Masato Jung-Ho Keolaokalani Shon 日系三世の母はハワイで雅楽をしており、雅楽の先生が「雅人」を付けてくれました。——日本に来たきっかけは何ですか。

大学3年生の時に京都の同志社大学で9ヶ月間留学して、また日本に来たいと思ったので、大学卒業後、冒険をしたいという思いで様々な仕事に応募し、ALT(外国語指導助手)として天草市に来ました。

——来日してカルチャーショックはありましたか。

普段真面目に働いている人達が、飲み会の時に別人みたいに盛り上がることにびっくりしました。

——熊本のどんなところが好きですか。

人が優しく、山も海もあり、自然がきれい。

少し郊外に出たら田んぼや畑がたくさんあり、自然や農業を身近に感じることです。

——どんなお仕事をしていますか?

国際交流員として、県内のALTを支援する(情報発信、相談、研修の企画等)ほか、翻訳・通訳、異文化交流での国際理解教育や外国語の指導も担当しています。

——好物や趣味は?

マイブームは、目玉焼きがのっている高菜飯で、趣味はサッカーと陶芸、トレッキング、農業です。

——最後にジェイソンさんの人生のモットーは?

常に新しいことに挑戦すること



プロフィール

2009年来日。天草で2年間ALTの経験を積んだ後、2011年から県国際交流員として勤務。熊本市在住。26歳。

◆MATE国際ナショナル倶楽部(M・I・C)

「益城国際ナショナルクラブ」は2013年創立20周年を機に「MATE国際ナショナル倶楽部」に改名しました。

当団体はこれまで“国際交流を身近なもの”をスローガンに活動してきました。中には、小学生の頃の活動をきっかけに通訳の仕事に就いて活躍する人や、留学生のホストファミリーの子ども達が、グローバルな活躍を目指すなど、多くの方が国際交流体験から学んでいます。今では当団体の活動に共感して下さる町民の方々のおかげで、子どもからお年よりまで気さくに外国の方とのコミュニケーションをとられたり、語学サークルやボランティア等に積極的に参加されたりすることが多くなっています。

また、国際協会には20年間所属しておりますが、以下のように大変大きな恩恵を受けています。

- ①多種多様な方々とコミュニケーションがとれて、国内外を問わず友達の輪が広がる。
- ②イベントの企画&実行力のスキルアップができ、若い人材の育成にも役立つ。
- ③国際交流活動によって、会員同士の団結が高まるとともに、諸外国への理解がより深まる。
- ④協会会員団体等との交流によって、専門的情報と指導が受けられ、当団体の活動に活かされる。

これまでのM・I・Cはイギリス、フランスを訪問して日本文化紹介イベントを実施し、現地から数々の感謝状をいただきました。今後は、子ども達がボランティア活動への親しみを感じるとともに、異文化との交流を継続していく団体でありたいと考えています。MATE(仲間)という名称にはその思いが込められています。これからも宜しく申し上げます。

M・I・C代表 酒井陽子



これまでの活動の様子

トピックス

◆平成25年度熊本県海外技術研修員受入事業について——熊本県

熊本県では、友好提携先や在外熊本県人会等から、技術者や行政関係者などを招聘し、技術習得の機会を与えるとともに、県民との交流を通じて日本の社会、経済、文化、科学等の各分野についての理解を深め、日本との交流の増進に貢献できる人材を育成することを目的として、昭和46年度から海外技術研修員を受け入れています。平成25年度の研修員は次の3名です。(名前/出身国/研修分野)

唐 灿(トウサン)さん(中華人民共和国)【建築、設計技術】
ケオ・サラエンさん(カンボジア王国)【学校教育】
てるやかみやま・ミラグロスさなえさん(ペルー共和国)【農業技術】

2013年8月から、それぞれ日本語研修や県内の各事業所等で専門分野の研修を受け、1月末に帰国されました。6ヶ月の期間中は平日の研修はもちろん、休日にも各地域で様々な体験を通して、熊本での生活を満喫されていました。帰国後は、研修の成果を発揮するとともに、熊本と母国との架け橋となり活躍されることを期待しています。

熊本県国際課



初めてのサッカー観戦
左からケオさん、唐さん、てるやさん

◆「2013日韓歴史シンポジウムin天草—日本と韓国のキリスト教受容史」——熊本日韓文化交流研究会



韓国関係者らとともに天草見学

2013年11月23日～25日、日本のキリスト教受容史の重要な舞台である天草において、日韓両国の研究者が両国のキリスト教受容史を紹介する初の試みとなった「2013日韓歴史シンポジウムin天草—日本と韓国のキリスト教受容史」を開催しました。韓国の関係者9名を迎え、天草のサンタマリア館、キリスト教文化の遺構や遺品を伝える博物館と三角西港等を見学。24日には、約100名の一般参加者を迎え、基調講演、研究発表、パネルディスカッションを実施しました。両国の研究者による発表は、日韓のキリスト教受容の事情の違いを明らかにすると同時に、アジア全体としての受容の共通点をも認識させる大変意義深いものでありました。懇親会では、当会との交流を深めるとともに、両国のキリスト教受容の違いなどについて議論を交わしました。

今回の国際シンポジウムの開催により、両国の研究者に新たな問題意識を芽生えさせると同時に、天草のキリスト教文化の遺品や遺構が、世界遺産にふさわしい歴史と文化を包括していることを改めて認識させる絶好の機会となったと思われる。(このシンポジウムは熊本県国際協会国際部事業部会の助成事業です)

熊本日韓文化交流研究会 坂本尚文

◆外国料理交流会——大津町国際交流協会

2013年12月1日、大津町国際交流協会では、外国料理交流会を大津町生涯学習センターで開催しました。

今回の交流会には、熊本学園大学の留学生を講師として招き、小麦粉で作った皮に野菜を炒めた具を巻いて食べる中国料理の「餅子(ピンズ)」や、米粉の皮を使ったベトナム料理の「揚げ春巻き」などを作りました。参加者は留学生に作り方を教わりながら料理に挑戦し、出来上がった後はみんなで楽しくおしゃべりしながらの食事会で親睦を深めました。この熊本学園大学の留学生とは、当協会のメンバーが2013年7月に同大学で意見交換会を行ったことがきっかけとなり、「次の交流はぜひ大津町で」ということで今回の料理交流会に招いたものです。

また、当日は大津町食生活改善推進協議会の協力で町特産のからいも(サツマイモ)が入ったいきなり団子汁なども振舞われました。

ベトナム料理の「揚げ春巻き」
を作っている風景

大津町国際交流協会

◆崇城大学の国際交流への取組み

崇城大学には、現在約150名の留学生が在籍しています。学部、大学院、留学生別科で、それぞれの学生が、勉学と研究に励んでいます。本学の教職員は愛情をもって留学生に接し、留学生の教育、研究指導、留学生活のサポートを行っています。

本学には留学生と日本人学生の交流の場をつくることを目的としたユニークな学生サークル「グローバルコミュニケーションズ」があり、活発に活動しています。週1回、このサークルのメンバーは留学生とともに昼食会をします。恒例となった「餃子を食べる会」



校内広場でのそうめん流し大会

では、学生食堂で中国人の教員や留学生が餃子を大量に作り、日本人学生とともに本場の餃子を楽しみます。毎年夏の「そうめん流し大会」は、学内のいこいの広場で開催され、留学生、日本人学生、教職員、およびその家族が参加します。

留学生別科は、日本の大学や大学院に入学するための日本語を学ぶコースです。毎年、新しい留学生との親睦を深めるためのバス旅行を行っています。

2013年10月16日～17日、本学応用微生物工学科三枝敬明准教授は大学院生と学部学生7名を引率し、大学間国際協定を結んでいる韓国・釜山の慶星大学で研修を行い、両大学の情報交換をしました。今後、交換留学、研究交流を行っていく予定です。

本学のこのような取組みにより、もっと多くの国から沢山の留学生が熊本を訪れ、国際交流が活発になり、熊本という地名がアジアや世界中の国々で広く知られることを祈念しています。

崇城大学留学生別科 寺本祐司

◆ブラジル慶祝訪問団——熊本日伯協会

ブラジル熊本県文化交流協会(県人会)創立55周年記念式典参加のため、2013年11月8日熊本日伯協会主催の慶祝訪問団がブラジル・サンパウロ市を訪れました。

今回の訪問団は、熊日会館社長の荒牧邦三団長を始めとして、熊本県から小野副知事、藤川県議会議長、前川県議、熊本市からは斎藤市議会議長、牛嶋市議ほかが参加しました。また、次世代の日伯交流を担う大学生を中心としたグローバルリーダー育成事業のメンバーも加え、総勢36名で、11月9日に、日本人慰霊碑に

献花を行い、夜の前夜祭で打ち解けた後、翌10日の式典に参加しました。



ブラジル慶祝訪問団一行

式典では、県人会の田呂丸哲次会長から「移住して三世、四世の時代となったが、日本に誇りを持って生きており、熊本は心のふるさとでもある。今後も未来に繋がるよう次世代への交流も行いたい」と挨拶。小野副知事も「日本人の心と誇りを持ち続けていってほしい」と述べられました。

訪問団はその後、経済交流やコーヒー農園を視察する県・市関係者、また、現地でホームステイをしながら、日系企業の視察や大学生との意見交流、農作業体験を行う大学生チームなどに分かれて、ブラジルで活躍する熊本県人と触れ合いました。世界第5位の面積であるブラジルは、これからが夏で、観光名所にも世界中から沢山の人が訪れていました。訪問団は今でも日本人の心や誇りを大事にして暮らす日系人が原動力となって、これからもブラジルの経済発展が続いていくことを祈念して帰国しました。

熊本日伯協会 事務局長 杉光定則

2013年秋に新築された多目的棟の
留学生別科日本語専攻の教室の様子

大盛況だった記念式典の様子

◆英国派遣について — 芦北町国際交流協会

芦北町国際交流協会では、国際理解の促進と地域づくりに対する見識を広めてもらうため、平成8年度より芦北町と共同でイギリスへ町民を派遣してきました。昨年度までは大人を対象としていましたが、21世紀を担っていく子どもたちに国際理解を深めてもらおうと、今年度からは町内の中・高校生を対象とした事業としました。募集には予想を超える応募があり、子どもたちの海外への関心の高さがうかがえました。



記念の一枚（セントポール大聖堂前）

中高校生7名と引率者3名は、2013年8月18日から25日にかけて、ロンドン市内視察や日本大使館への訪問、在英熊本県人会の方々との交流、ホームステイや買い物体験等イギリスで様々な体験を通して学習してきました。

帰国した子どもたちからは、「イギリスの古い物を大切にしている精神に感心した」、「ボランティアが盛んで、日本もそうになってほしい」、「将来もう一度イギリスを訪れたい。そのために英語をもっと勉強したい」など様々な感想を聞くことができました。

その中で、全員が共通して感じたことは、日本の良さを再確認したということです。国際交流では、相手の国を知ることと同じくらい自国を知ることが大切です。今回の派遣は、自分たちの国や町の良さというものを改めて感じることできた良い機会だったと思います。

芦北町国際交流協会事務局

◆「八代市ジュニア友好派遣団」が中国北海市を訪問 — 八代市

八代市内の中学生10名と引率教諭など5名のあわせて15名が「ジュニア友好派遣団」として、2013年12月20日から25日にかけて友好都市である中国北海市を訪れました。滞在中は、同年代の生徒さんの家庭にホームステイしながら、北海市立の中高一貫校である「北海市第五中学」での授業体験、記念植樹、餃子づくり、座談会、レクリエーションスポーツなどへの参加を通して、地元の中学生をはじめ多くの北海市民との親交を深めました。



訪問先校門前の集合写真

中学生達が中国で異文化に触れ、理解することは、同時に日本や故郷八代の良さを再認識することにもつながり、数々の発見や感動を胸に、大きく成長して八代に戻ってきたと感じています。また、このような青少年間の交流を通じて、両市の友好関係がさらに発展するとともに、将来の日中友好を担う次世代の人々が育ってくれることを心から期待しています。

八代市企画戦略部

◆孫文を支えた宮崎滔天の史料展が海外で初開催 — 荒尾市

熊本県、荒尾市及び上海市関係機関の共催により、上海孫中山故居記念館で「孫文と日本友人宮崎滔天—学術交流活動および史料展—」が2014年1月23日から3月31日まで開催されました。

開幕式当日は、宮崎滔天の生誕日に相応しい晴天となり、主催者をはじめ日中両国の関係者約80名が出席して、開幕の喜びを分かち合いました。

史料展は、宮崎家の協力を得て、孫文が宮崎兄弟に贈った書や革命志士たちに関する史料を展示し、説明文には日本語を併記しています。会場内には、熊本県を紹介する大型パネルも設置され、来館者に孫文ゆかりの地「くまもと」の魅力を大いにPRすることができました。

また、開幕式の後に行われたレセプションには、熊本県の営業部長「くまモン」もサプライズで登場し、史料展の開幕に花を添えました。

荒尾市政策企画課



テープカット

VOICE 4

お知らせ

◆日本語ミュージカル「吾輩はニャンコである」の上演について

NPO法人熊本インドネシア友好協会は2013年5月に発足しました。インドネシアから留学している学生さんたちを支援する事業を中心に活動しています。これまで山都町へのバス旅行、病院見学、教育講演会、くまもとマーチングフェスティバル見学、八代白百合学園高校吹奏楽部定期演奏会鑑賞などを行いました。

今年は1周年記念として、インドネシアの大学で日本語を勉強している学生で結成された劇団en塾による日本語ミュージカル「吾輩はニャンコである」を4月6日(日)に熊本県立劇場演劇ホールで上演します。



en塾の皆さんと



くまもとマーチングフェスティバル見学

脚本は代表の甲斐切清子さんですが、作曲・振り付け・音響照明などほとんど学生だけで作り上げ、60人の大所帯の学生が熊本を訪れ公演します。同日にはホールロビーで劇団en塾の活動展示会とインドネシアの魅力ある民芸品や熊本の新鮮な物産のバザーも開催します。たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

◆第17回「植木町世界の夜明け調査団」 in ローム！

植木町国際交流協会では、アメリカ合衆国ジョージア州ローム市とニュージーランド・サウスキタラナキ地方において、中学生を中心とした派遣・受入する事業を展開しています。この派遣事業は、1992年から行っており、今年度で第17回目になります。

今回は2014年3月23日から4月3日までアメリカジョージア州ローム市へ10名の中学生と3名のスタッフ(団長・総務・通訳)を派遣。ローム市でのホームステイ交流を中心に、市長歓迎レセプション、学校訪問、施設、名所等の視察研修、オリンピック開催で有名なアトランタ市での施設見学などをします。出発まで5回の事前学習会で、語学をはじめ相互の歴史文化等を勉強しました。



事前学習会で発表している様子

来年の1月にニュージーランド・サウスキタラナキ地方からの訪問団の受入、またローム市への派遣を検討しています。熊本市在住で興味をもたれた方は、事務局までお気軽にお尋ねください。

お問合せ先：植木町国際交流協会事務局（熊本市北区役所植木まちづくり交流室内）TEL096-272-6906

◆《青年海外協力隊&シニア海外ボランティア》募集について

開発途上国への技術協力や人材育成を行なっているJICA（独立行政法人国際協力機構）が平成26年度春のJICA海外ボランティアを募集します。募集期間は4月1日（火）～5月12日（月）です。

まずは、「体験談&説明会」への参加から、その第一歩が始まります。

「体験談&説明会」の開催場所・日時

【熊本会場】 熊本市国際交流会館 4階

【日時】 ① 4月5日（土）午後6時30分～

② 4月13日（日）午後2時00分～

【八代会場】 やつしろハーモニーホール

【日時】 4月19日（土）午後2時00分～

問合せ：JICA九州ボランティア班 Tel：093-671-8349又はJICAデスク熊本 Tel：096-359-2130

詳しくはJICAホームページへ：<http://www.jica.go.jp>

会員団体行事予定

(2014年4月～2015年3月)

事業名	開催場所・日時	事業内容	主催・連絡先
北部タイ山岳少数民族里親運動	熊本YMCA 北部タイ山岳少数民族里親運動事務局 2014年4月1日(火)～2015年3月31日(火)	北部タイ山岳民族の子どもたちが学校に通えるように里親制度による支援へご協力ください。 http://www.kumamoto-ymca.or.jp/international/9.html	熊本YMCA 辻 健太郎 096-353-6397
インドネシア大学生による日本語ミュージカル「吾輩はニャンコである」本誌7ページ参照	熊本県立劇場演劇ホール 2014年4月6日(日) 16:00～	インドネシアの大学で日本語を学ぶ学生たちで結成された劇団 en塾(エンジュク)の日本公演です。 入場料1500円です。	NPO法人 熊本インドネシア友好協会(KIFA) 森 義臣 090-8227-9084
第15回ピカケスタジオ公演	熊本県立劇場演劇ホール 2014年4月20日(日) 13:00～16:00	ハワイアンフラとタヒチアンダンスの公演。今回はハワイからゲストを招いて交流。 入場無料。 http://www.pikakestudio.com/	ピカケスタジオ 井上敏雄 096-343-1510
国際交流松居直美パイプオルガンコンサート ——フィリピン水害チャリティーコンサート——	熊本白川教会 熊本市中央区九品寺2-2-24 2014年6月15日(日)	世界的オルガニスト松居先生のパイプオルガン演奏を熊本在住の諸外国の方々と共に楽しみましょう。 http://sirakawakyokai.com/	王栄国際交流委員会 粟津安和 096-363-4315
第22回「アフリカの子どもの日」 in Kumamoto	熊本県立劇場、熊本県交流会館バリア他 2014年7月11日(金)～ 7月13日(日)	アフリカの子どもの日を記念して、アフリカからの留学生と熊本の学生等が交流し、理解を深める。 http://www1.odn.ne.jp/unicef-kumamoto/	熊本県ユニセフ協会 名和千恵子 096-326-2154
第18回タイ・ユースワークキャンプ	タイ国 チェンマイ県、チェンライ県 2014年8月19日(火)～ 8月28日(木) 予定	北部タイ山岳少数民族の村にホームステイやワーク(井戸作りや集会場作りなど)をして、現地の人たちと交流します。 http://www.kumamoto-ymca.or.jp/	熊本YMCA 辻 健太郎 096-353-6397
在菊外国人交流会	菊池市 2014年10下旬(予定)	バスハイクを行い、市民と在住外国人の交流を図る。 http://www.city.kikuchi.kumamoto.jp/SightseeingIndex_3748/_4844html	菊池国際交流協会 谷田 0968-25-7252

事務局から

◆協会のホームページの活用について

事務局では、会員の皆様の最新情報やお知らせを随時に受付け、協会ホームページにアップデートするように心がけています。県民の皆様や関係者にお知らせしたい情報がありましたら、下記連絡先まで電子データ・写真を送付してください。

E-mail: kuma-koku@cup.ocn.ne.jpURL: <http://www.kuma-koku.jp>

◆国際相談コーナーについて

熊本県国際協会の国際相談コーナーでは、在住外国人や県民の皆さんなどを対象に、面接、電話、文書による法律、労働、結婚、教育、国際協力、その他生活全般についての相談を受け付けています。

日常のちょっとした困り事や様々な問題に関するご相談、ご質問がありましたら、お気軽にお電話ください。

(対応言語：日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語 日時：平日9:00～17:00)

相談・お問合せ先 Tel 096-385-4488 Fax 096-277-7005

編集委員

飯田憲幸（（一社）熊本青年会議所）、上村勝代（熊本市北部国際青年交流会）、神保勝己（（公財）熊本YMCA）
杉光定則（熊本日伯協会）、寺本祐司（崇城大学）、藤門豊明（熊本アイルランド協会）、毛利秀士（熊本むくげの会）

事務局：磯田淳、田畑充啓、西川博、宮崎恵、櫻木俊輔、児玉英吾、尾方英介、井手口真帆